愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2022年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	総合演習Ⅱ		
担当者(Instructors)	小島 正憲	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

総合演習Ⅱでは、学習指導要領（7領域）の理論を学び、実践することである。特に、専門スポーツ実習時にできていない種目や、不得意であった種目の課題を各自で設定し、その課題が出来るよう練習計画及び練習方法を模索し、最後に実技発表する。そのことで、課題を達成するための必要なPDCAサイクルを学びつつ、教員やスポーツ指導者を目指す学生の実践力を高める。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	演習形式で授業を実施する。授業内容に応じて、ディスカッション及びグループワークを取り入れる。 また、学んだことや作成した資料については、積極的に発表する時間を設ける。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	ガイダンス	受講に関する諸注意、学習の進め方について説明する。	□
第2回	実践授業①【体つくり運動：体力を高める運動】	学習指導要領の7領域にある【体つくり運動：体力を高める運動】の授業を行う。特に、専門スポーツ実習などで嫌悪感や不得意に感じた内容を中心に、自己の課題が達成できる授業展開をする。	□
第3回	実践授業②【体つくり運動：体の動きを高める運動】	学習指導要領の7領域にある【体つくり運動：体の動きを高める運動】の授業を行う。特に、専門スポーツ実習などで嫌悪感や不得意に感じた内容を中心に、自己の課題が達成できる授業展開をする。	□
第4回	実践授業③－1【球技：ゴール型】	学習指導要領の7領域にある【球技：ゴール型】の授業を行う。特に、専門スポーツ実習などで嫌悪感や不得意に感じた内容を中心に、自己の課題が達成できる授業展開をする。	□
第5回	実践授業③－2【球技：ネット型】	学習指導要領の7領域にある【球技：ネット型】の授業を行う。特に、専門スポーツ実習などで嫌悪感や不得意に感じた内容を中心に、自己の課題が達成できる授業展開をする。	□
第6回	実践授業③－3【球技：ベースボール型】	学習指導要領の7領域にある【球技：ベースボール型】の授業を行う。特に、専門スポーツ実習などで嫌悪感や不得意に感じた内容を中心に、自己の課題が達成できる授業展開をする。	□
第7回	実践授業④－1【器械運動：マット運動の基礎的な技】	学習指導要領の7領域にある【マット運動の基礎的な技】の授業を行う。特に、専門スポーツ実習などで嫌悪感や不得意に感じた内容を中心に、自己の課題が達成できる授業展開をする。	□
第8回	実践授業④－2【器械運動：マット運動の発展技】	学習指導要領の7領域にある【マット運動の発展技】の授業を行う。特に、専門スポーツ実習などで嫌悪感や不得意に感じた内容を中心に、自己の課題が達成できる授業展開をする。	□
第9回	実践授業④－3【器械運動：跳び箱運動の切り返し技】	学習指導要領の7領域にある【跳び箱運動の切り返し技】の授業を行う。特に、専門スポーツ実習などで嫌悪感や不得意に感じた内容を中心に、自己の課題が達成できる授業展開をする。	□
第10回	実践授業④－4【器械運動：跳び箱運動の回転技】	学習指導要領の7領域にある【跳び箱運動の回転技】の授業を行う。特に、専門スポーツ実習などで嫌悪感や不得意に感じた内容を中心に、自己の課題が達成できる授業展開をする。	□
第11回	実践授業④－5【器械運動：鉄棒運動の基礎的な技】	学習指導要領の7領域にある【鉄棒運動の基礎的な技】の授業を行う。特に、専門スポーツ実習などで嫌悪感や不得意に感じた内容を中心に、自己の課題が達成できる授業展開をする。	□
第12回	実践授業④－6【器械運動：鉄棒運動の発展技】	学習指導要領の7領域にある【鉄棒運動の発展技】の授業を行う。特に、専門スポーツ実習などで嫌悪感や不得意に感じた内容を中心に、自己の課題が達成できる授業展開をする。	□

第13回	実践授業④－7【平均台運動：平均台運動の基礎的な技】	学習指導要領の7領域にある【平均台運動の基礎的な技】の授業を行う。特に、専門スポーツ実習などで嫌悪感や不得意に感じた内容を中心に、自己の課題が達成できる授業展開をする。	□
第14回	実践授業④－8【平均台運動：平均台運動の発展技】	学習指導要領の7領域にある【平均台運動の発展技】の授業を行う。特に、専門スポーツ実習などで嫌悪感や不得意に感じた内容を中心に、自己の課題が達成できる授業展開をする。	□
第15回	授業のまとめ	授業全体の振り返りをし、課題（振り返りシート）を提出する。また、独自の授業アンケートを実施する。	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

事前指導として、学校体育に関連する文献及び論文を調査すること（毎週2時間）。また、事後指導として、各回の講義で配布した資料、内容を整理しておくこと（毎週2時間）。具体的には、 各回で必要とする資料や課題等の準備を、「テキスト・参考文献・web調査・研究室訪問」を活用し、質の高い内容に仕上げる。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

課題物については即時に教員がチェックし、改善点を指導する。また、その改善点については、ゼミ内全体に情報共有できるよう適宜学生に伝える。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◇ 2019全学共通DP1	学びの基礎となる社会、文化、自然等に関連する幅広い知識を習得しながら、学校体育の専門的な知識を育み、それを活用することができる。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019全学共通DP2	学校体育を中心に関連する文献調査やWEB調査をし、情報リテラシーを駆使しながら、自身の考えを持って発信することができる。
主体性	◆ 2019全学共通DP3	学校体育における専門知識と自らの経験をもとに、多角的で客観的な視点を持って問題を的確に判断し、解決することができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
0%	0%	0%	70%	30%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

成績評価の内訳は【レポート（各種目の振り返りシート）30%、平常評価70%（各授業回の自己課題の達成度）計100%】とし、全て授業内に実施する。

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	時事通信出版局、授業が変わる！新学習指導要領ハンドブック、時事通信社	978-4-7887-1527-1
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1		
2		
3		
4		
5		